

あとかきのあとかき ~著者から人事担当者へのメッセージ

『部下を知らない上司 のための育成の極意』



2024年5月刊
発行：労働新聞社
販価：1,980円

主な内容

- 一様から多様化する人材を活用する時代へ
- 部下を育成する時に大切なこと
- 部下の健康状態を理解する／健康モデル
- 部下の心理状態を理解する／心理モデル
- 職場として部下にどう対応するかを理解する／環境モデル

あなたは、本当の部下を知っていますか？ 本書は、部下を育てる上司の方に向けた、「本当の部下」の知り方をお伝えする本です。

部下を理解する3つの視点

例えば、いつも会議で眠ってしまう部下がいたら、「怠け者だ」と思うでしょうか。実はそこには病気が隠れている場合もあります。育成にあたっては、部下の一面に過ぎない職場の姿だけでなく、プライバシーにも配慮しながらも、性格、考え方、持病、生活習慣、家族の状況、職場環境なども含めた部下の全体像を知ることが大切です。

そこで注目されているのが、「健康-心理-環境モデル」と呼ばれるアプローチです。このモデルは、そのような時に役立つよう、精神科医ジョージ・エンゲルが提唱した理論「生物-心理-社会モデル」に着想を得て考案したモデルで

す。部下を健康面・心理面・環境面の3つの視点から捉えることで、体系的な理解に基づく正確かつ効果的な対応がとれるようになります。その具体的手順を本書にまとめました。

認識の誤りが不幸を招く

私の経験になりますが、相談員としてのキャリアで、初めてお会いする相談者に対して短時間に「何が課題なのか」を把握する難しさを痛感していました。

特に、労務相談を扱う場合、経営者やマネジャーとの面談を通じて、当事者に会わずに問題解決に取り組まなければなりません。経営者、マネジャー、部下としての立場の違いによって、物事の見方が異なるケースをたびたび見きました。

具体例として、企業のマネジャーから「会議中に社員が眠ってしまう」と相談された事例が挙げら



特定社会保険労務士 公認心理師
代表 山田 真由子

れます。実は、その社員は睡眠時無呼吸症候群を抱えており、適切な治療で問題は解決しました。しかし、マネジャーは健康問題を無視して対策を講じようとしていました。

このような認識の誤りが、不幸な結果を招く可能性があります。このため、部下をより深く理解し、最適な解決策を見出すために、「健康-心理-環境モデル」を活用することが有効です。

本書では、非生産的な職場の例からはじめ、心理的安全性の構築、ダイバーシティとインクルージョンの推進、部下の健康と心理状態への配慮、そして環境モデルの応用に至るまで、現代のマネジメントの課題にどう対応するかについて具体的なアドバイスが提供されています。紹介されたモデルやアドバイスが、読者のマネジメントスキルの向上と健全な職場環境の構築に役立つことを願っています。

部下育成に携わる管理職の上司の方、人事担当者、社労士やキャリアコンサルタントの方など、ぜひ幅広い読者にお読みいただきたい1冊です。